

・除雪車・兼用車・散水車・梯団作業によりチェーン規制のためできたノーズ間の作業を行う

	内容	留意事項
準備工	・梯団除雪作業手順書に準ずる	・梯団除雪作業手順書に準ずる(制定・改定日 2019/02/08)
作業中	<p>・冬用タイヤ規制・チェーン規制によりできたノーズ間の梯団作業車は積雪状況により異なるが本部にて判断し台数は確定する 【上り線:MT西・AT東 下り線:AT東・ET西 各IC本線の追い越し】 手順 ①本部連絡員は事前にチェーン規制員にノーズ間の積雪状況を確認し積雪が多い場合は事前に湿塩散布車・除雪車・散水車をノーズ間のバックさせ凍結防止剤散布・塩水散布・除雪等を行っておく。</p> <p>②本部よりチェーン規制員にチェーン規制材の間引き指示をする。(最小限の機材によりチェーンベースに一般車を引き込む) 【可搬式・回転灯等は撤去 矢印板は1名あたり2枚撤去するように間引きを行う(1名2枚×3名=6枚でCBに引き込むようにする)】 本線についてはラバーコーン・回転灯・標識車を撤去し矢印板6枚にて車線規制を行いチェーンベースに車両を引き込む</p> <p>③雪水車両に台数(参考資料により)及び反転ICの指示をする。 その際には追い上げ車1台・PA閉鎖1台も指示する。</p> <p>④チェーン規制員は間引きが完了したら本部に報告する。</p> <p>⑤本部より雪水車両に出発の指示をする。 規制員にも出発の連絡をする。</p> <p>⑥雪水車両は縦列により本線に合流し後尾警戒の指示により進路変更及びブラウを広く梯団作業が出来るようにする。</p> <p>⑦PA閉鎖班はPAの閉鎖を行う。 (後尾警戒乗務員はPA閉鎖班と携帯電話にて連絡を行い閉鎖を行う)</p> <p>⑧追い上げ車は一般車の最終車両について行き規制員に最終車両を知らせる。</p> <p>⑨チェーン規制員は一般車両最終車が通過後にチェーン規制材を撤去する。</p> <p>⑩PA閉鎖班は安全を確認出来たら閉鎖を解除する。</p> <p>⑪すべて完了したら梯団解除し縦列の回送若しくは後続一般車が複数危険と判断したら次のICまで梯団を継続する。</p> <p>⑫チェーン規制が継続中であればチェーン規制員はチェーン規制材を再度設置する。</p> <p>⑬作業完了後には湿塩散布車及び溶液散布車の凍結防止剤及び塩水の残数を本部に連絡する。</p> <p>・車両管理システム(VIPS)の使用</p>	<p>①バックの誘導 ①CB出口付近は一般車が本線に流入してくるので監視員を配置し接触等のないように行う。</p> <p>②一般車両との接触等に注意し発煙筒の有効利用及び監視員を配置・正対して作業を行う。</p> <p>③ノーズ間の状況を的確に判断し台数等の指示をする。</p> <p>④本部に間引き完了を報告し規制員は安全な場所で待機する。</p> <p>⑤本部及び雪水車両乗務員・チェーン規制員との的確な打合せを行う。</p> <p>⑥後尾警戒車は後続一般車との安全な間隔を確認し進路変更を行う。字幕は全車両「作業中:追い越し禁止」とする料金所前の横断には一般車との接触に十分注意し助手は料金所流入する一般車の確認を行う。</p> <p>⑦PA閉鎖班はお客様への返答を的確に行い苦情のないよう注意する。 (例)「除雪作業のためだいまPA流出が出来なくなっております、除雪車通過後安全を確認したら解放します、ご迷惑をおかけします。」</p> <p>⑧追い上げ車乗務員はチェーン規制員に確実に指示をする。(事前打ち合わせで携帯番号も確認しておく)</p> <p>⑨チェーン規制材撤去後は安全場所で待機する。</p> <p>⑩梯団により低速走行となっている一般車両が無いことを確認して解放する。</p> <p>⑪作業車が走行車線で縦列走行を行うと一般車は追い越し車線を行くため危険が伴う恐れがあるので注意する。</p> <p>⑫発煙筒の活用及び火傷には注意する。 監視員の配置及び一般車と正対して作業を行う。</p> <p>⑬作業完了及び湿塩散布車・溶液散布車の残数の報告を必ず行う。</p> <p>・車両管理システム(VIPS)を使用する【作業内容に伴い切り替えを行う】 使用しないときは確実に電源を切ること</p>
後片付け	・梯団除雪作業手順書に準ずる	・梯団除雪作業手順書に準ずる(制定・改定日 2019/02/08)

注意事項

- ・大梯団除雪作業手順書に準ずる
- ・**1人作業の禁止**

参考資料

- ※パターン1～3までは例としてありますが、台数等は本部により指示をする。
- | | |
|---|-------|
| パターン1:除雪車1台・湿塩散布車1台・散水車1台・後尾警戒1台・追い上げ1台・閉鎖班1台 | 計 5台 |
| パターン2:除雪車2台・湿塩散布車2台・散水車1台・後尾警戒2台・追い上げ1台・閉鎖班1台 | 計 9台 |
| パターン3:除雪車3台・湿塩散布車3台・散水車2台・後尾警戒3台・追い上げ1台・閉鎖班1台 | 計 13台 |

作業編成(標準)	員数(最大数量)	資機材
責任者	1名	参考資料による
作業員	25名	

安全器具・保護具確認

ヘルメット・反射(自発光)チョッキ・反射スパッツ 発煙筒・黄旗・警笛・安全帯
